OLYMPUS

デジタルカメラ

# E-330

# 取扱説明書 基本編




- この取扱説明書は基本的な撮影と再生の操作について説明しています。詳しい機能については、別冊の応用編取扱説明書をお読みください。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

# もくじ

カメラがすぐ使えるように、撮影前の準備、簡単な撮影と再生について順に説明しています。まず、この取扱説明書を読んで、基本的なカメラの操作をマスターしてください。

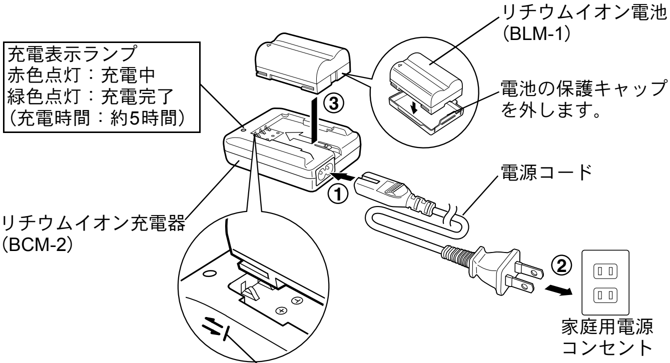


製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

# ご使用の前に

## 電池を充電する

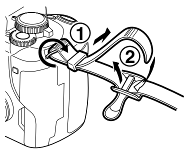
付属の充電器を使って電池を充電します。お買い上げ時は電池は完全には充電されていませんので、充電してからお使いください。




## ストラップを取り付ける

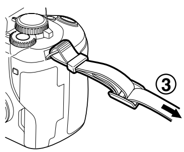
**① ストラップの端をカメラ本体のストラップ取付部に通します。**

**② 矢印に従って、ストラップの端をリングに通し、さらに止め具に通します。**




**③ ストラップを矢印の方にピンと引いて、抜けないことを確認します。**

**④ 手順1～3に従って、もう一方のストラップ取付部にもストラップを取り付けます。**

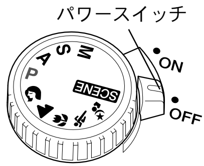



**注意**

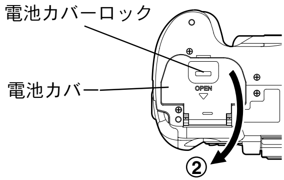
ストラップは必ず手順に従って正しく取り付けてください。誤った手順で取り付けたことによる落下などにより損害が生じた場合、一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

## 電池を入れる

① **パワースイッチが OFF になっていることを確認します。**

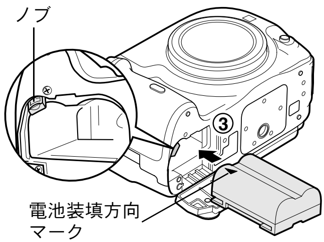



② **電池カバーロックを▽ の方に軽く押して、電池カバーを開けます。**



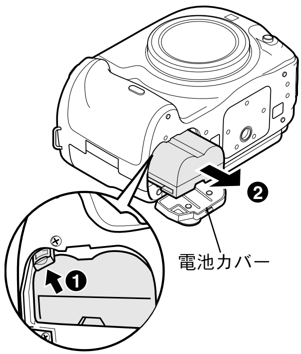

③ **電池ロック用のノブで電池がロックされるところまで押し込みます。**

④ **電池カバーが、カチッと鳴るまで閉めます。**



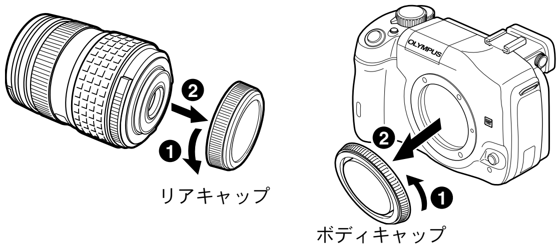

*電池を取り出す*

**電池ロック用のノブを押すと電池が出てくるので取り出します。**



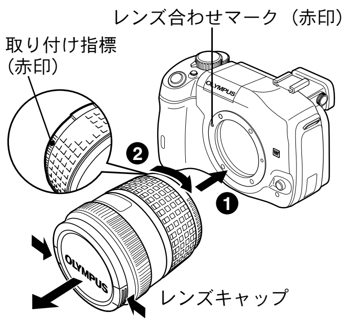
## レンズを取り付ける

**① カメラのボディキャップと、レンズのリアキャップを外します。**



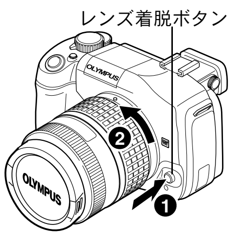

**② カメラのレンズ合わせマーク（赤印）にレンズの取り付け指標（赤印）を合わせ、レンズをボディに差し込みます。レンズをカチッと音がするまで時計回りに回して、取り付けます。**

**③ レンズキャップを外します。**




### *レンズを取り外す*

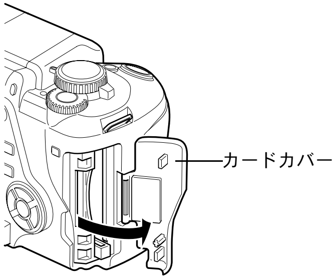
**レンズ着脱ボタンを押しながら、反時計回りにレンズを回して取り外します。**




• 使用できるレンズについては ☞ 応用編（P.176）をご覧ください。

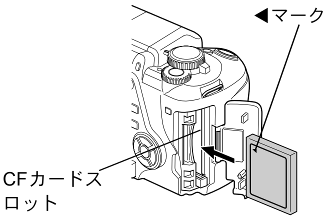
## カードを入れる

**カードカバーを開けて、カードを入れます。**



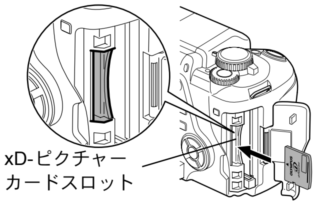

### *コンパクトフラッシュ／マイクロドライブの場合*

図のように端子側を奥にして差し込みます。




### *xD-ピクチャーカードの場合*

カードをロックするまで図のように差し込みます。



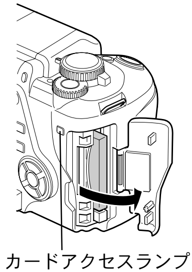

- 使用できるカードについては☞ 応用編（P155）をご覧ください。

**注意**

- カードはペンなどの先のとがったもので押さないでください。
- カメラの電源が入っているときは絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したりしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。

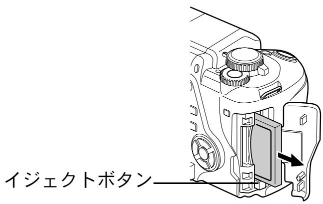
## カードを取り出す

**カードアクセスランプが消えてから、カードを取り出します。**



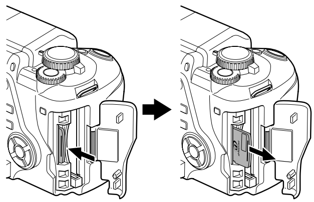

### *コンパクトフラッシュ／マイクロドライブの場合*

- イジェクトボタンを奥まで押し込むと､イジェクトボタンが出てきます。イジェクトボタンをもう一度奥まで押し込みます。
- カードが出てきます。
- イジェクトボタンを強く押すとカードが勢いよく飛び出してくる場合があります。
- カードをつまんで取り出します。

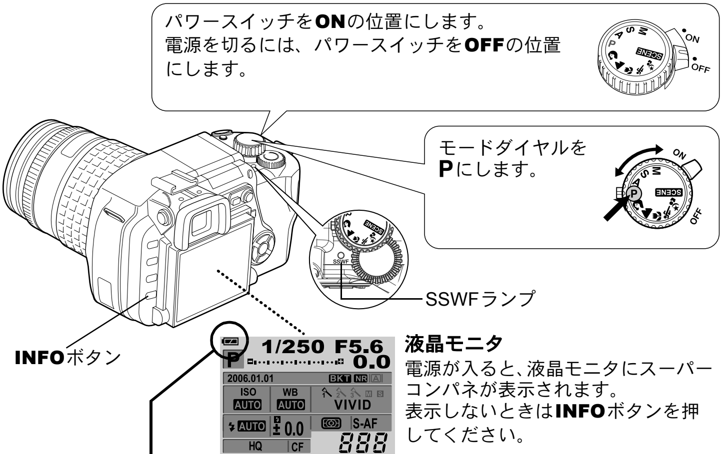



### *xD-ピクチャーカードの場合*

- 差し込まれているカードを軽く押すと、カードがでてきます。
- カードをつまんで取り出します。



## 電源を入れる




**電池残量マークについて**

電源を入れたときや使用中に電池残量が少なくなると、電池残量の表示が変化します。

**点灯（緑）**

撮影できます。*2

**点灯*1（赤）**

電池残量が少なくなりました。
早めに充電してください。

**[電池残量がありません]と表示されます。**

電池残量が完全になくなりました。

*1 ファインダ内表示では点滅します。

*2 デジタルカメラは、動作状態により消費電力が大きく変わります。 カメラの動作状態によっては、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。

### *ダストリダクション機能の作動*

電源を入れたとき、撮像素子のフィルター前面についたゴミをスーパーソニックウェーブフィルター（SSWF）により払い落とすダストリダクション機能が自動的に働きます。ダストリダクション機能が作動中はSSWFランプが点滅します。

## 日時を設定する

日時の情報は画像とともにカードに記録されます。また、ファイル名も日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。

① **MENUボタンを押します。**

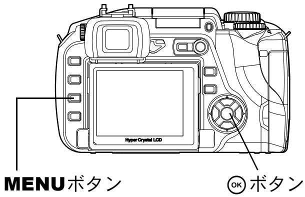
② **△▽で［Ɣ2］を選択し、▷を押します。△▽で[日時設定]を選択したら▷を押します。**
- 選択している箇所が緑色で表示されます。

③ **△▽で日付の順序を、"年-月-日"、"月-日-年"、"日-月-年"から選択し、▷を押します。**
- 以下の手順は"年-月-日"に設定した場合の説明です。

④ **△▽で年の項目を入力し、▷で月の項にすすみます。**
- ◁を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- "年"の上2桁は固定されています。

⑤ **同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。**
- 時刻は24時間表示です。
  午後2時は14:00と表示されます。

⑥ **OKボタンを押します。**
- 0秒の時報に合わせてOKボタンを押すと、正確に時刻を合わせられます。時計はこのとき動き始めます。













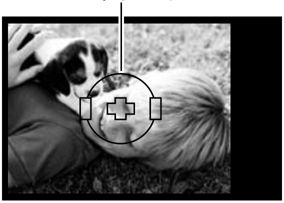
### 注意

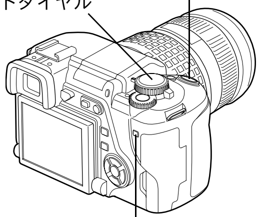
- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。

## ファインダをのぞいて撮影する

モードダイヤルを**P**にセットします。

① **ファインダをのぞきながらAFフレームに被写体を合わせ構図を決めます。**




② **ピントを合わせます。**

シャッターボタンを軽く押します(半押し)。

- ピントが固定され、ファインダ内の合焦マークが点灯し、ピントの合ったAFフレームが点灯します。
- カメラが自動的に決定したシャッター速度や絞り値が表示されます。
- シャッターボタンが押されている間は、スーパーコンパネは消灯します。




③ **撮影します。**

半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。

- 撮影され、シャッター音がします。
- カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。

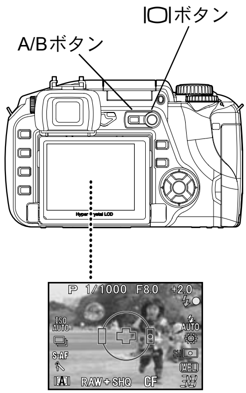
### *撮影確認*

撮影した画像はカードに記録している間、液晶モニタに表示されるので、結果を確認できます。

## 液晶モニタを見ながら撮影する

液晶モニタを見ながら構図を決めて撮影することもできます。[◘]（ライブビュー）ボタンを押すと液晶モニタに被写体が表示されます。

- A/B ボタンで構図確認やピント合わせといった異なった使い方ができます。
  ☞ 応用編「ライブビュー」（P28）




## カメラが動作を停止したときは

- 電源を入れたまま約 1 分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐためにスリープモード（待機状態）になり、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどを操作すると、カメラはすぐに動作を再開します。
  ☞ 応用編「スリープ時間」（P108）

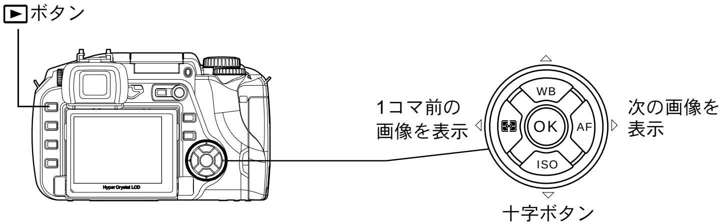
### ❗ 注意

- シャッターボタンは静かに押してください。 シャッターボタンを強く押すとカメラが動き、ぶれる原因になります。
- カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池やカードを抜かないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。
- 強い逆光などで撮影すると、画像の影の部分に色がつくことがあります。

# 再生する / 削除する

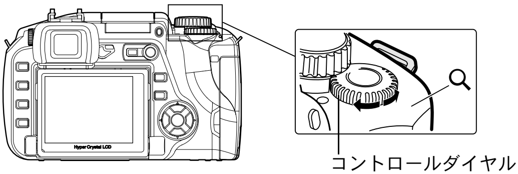
## 画像を再生する

▶（再生）ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示されます。



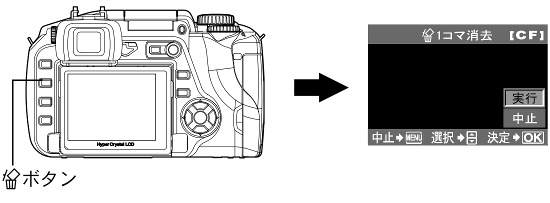

## クローズアップ再生する

コントロールダイヤルを🔍側に回すたびに2～14倍と拡大倍率が変化します。




## 画像を削除する

消去したい画像を再生し、🗑（消去）ボタンを押します。
**[実行]**を選択してOKボタンを押すと、削除されます。



# 撮った画像をパソコンで楽しむ

付属のCD-ROMに画像編集・管理ソフトOLYMPUS Masterが収録されています。パソコンにインストールし、撮った画像でもっと楽しみましょう。

## OLYMPUS Master をインストールする

CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを入れます。




**Windows の場合**

「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。

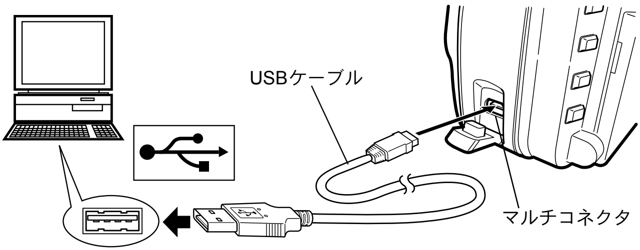
**Macintosh の場合**

「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。



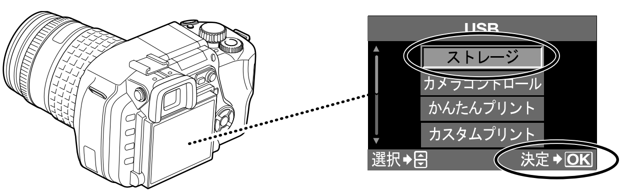

画面のメッセージに沿って操作を行ってください。

## カメラをパソコンに接続する




カメラのパワースイッチを**ON**にします。

- 液晶モニタにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。



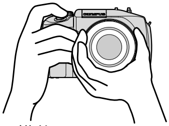

**[ストレージ]**を選択し、Ⓞを押します。

☞ 応用編「パソコン接続」（P128）

# カメラの基本操作

## カメラの正しい構え方

撮影した画像を見ると、被写体の輪郭がはっきりしないときがあります。このようなときはシャッターボタンを押し込んだ瞬間にカメラを持つ手がぶれたり、カメラが動いていることがあります。
このような失敗を防ぐために、カメラは脇を締めて両手でしっかり持ちましょう。カメラを縦位置で持つときは、フラッシュがレンズより上になるように持ちます。レンズとフラッシュに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

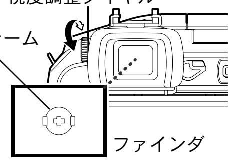

横位置


縦位置

## ファインダの視度調整

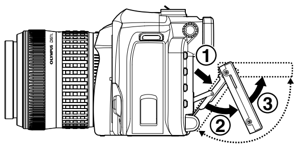
レンズキャップを外し、ファインダを覗きながら視度調整ダイヤルを少しずつ回します。

AFフレームがはっきり見えたら調整完了です。




## 液晶モニタの角度調整

撮影の環境に応じてモニタの角度を変えることができます。



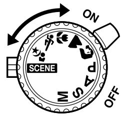
破線の範囲で角度を変えることができます。

**注意**

- 液晶モニタに強い力を加えないでください。カメラを三脚に取り付けているときは、液晶モニタの下部が台座にあたる場合がありますのでご注意ください。
- 液晶モニタの背面や金具の部分に物を入れるなどして傷をつけないように注意してください。

## モードダイヤル

目的のモードに合わせて電源を入れてください。電源を入れた後でモードダイヤルの位置を変えることもできます。



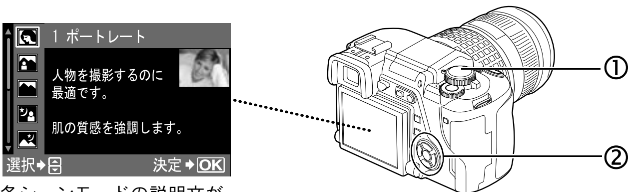

**P**：最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に決めます。
**A**：絞り値を自分で設定し、撮影します。
**S**：シャッター速度を自分で設定します。
**M**：絞り値とシャッター速度を自分で設定します。
：撮影に合わせて選択します。
**SCENE**：20種類の撮影シーンから選択します。

## SCENE モード

撮影シーンに合わせてSCENEモードから選択します。

① **モードダイヤルをSCENEに設定します。**

② **を押してシーンを選択し、OKボタンを押します。**



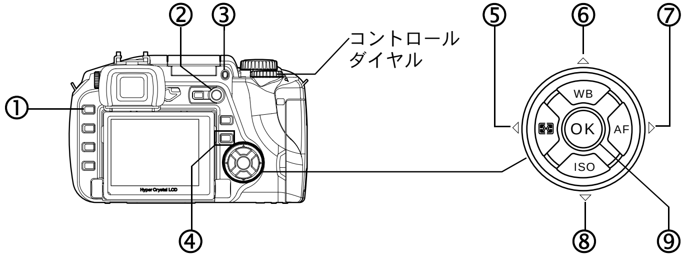

各シーンモードの説明文が表示されます。

**SCENE の種類**

- ポートレート
- 風景
- 風景＆人物
- 夜景
- 夜景＆人物
- チャイルド
- スポーツ
- ハイキー
- ローキー
- ぶれ軽減
- マクロ
- ネイチャーマクロ
- キャンドル
- 夕日
- 打ち上げ花火
- 文書
- パノラマ
- ビーチ＆スノー
- 水中ワイド
- 水中マクロ

## 撮影モードで使うボタン

撮影でよく使う機能を簡単に設定できます。




① ▶（再生）ボタン

再生モードに切り換えます。

② [ライブビュー]（ライブビュー）ボタン

液晶モニタに被写体を表示して撮影ができます。

③ ⚡UP ボタン

内蔵フラッシュを起こします。

**以下のボタンを押すと液晶モニタにメニューが表示されます。**
**メニューを見ながらコントロールダイヤルを回して設定します。**

④ [ドライブ]（ドライブ）ボタン

単写/連写、リモコン撮影、セルフタイマー撮影の設定をします。

⑤ [測光]（測光）ボタン

測光方法の設定をします。

⑥ **WB**（ホワイトバランス）ボタン

ホワイトバランスの設定をします。

⑦ **AF**（フォーカスモード）ボタン

フォーカスモードの設定をします。

⑧ **ISO** ボタン

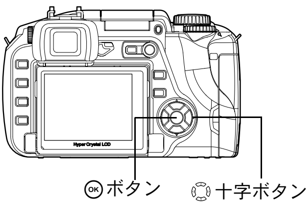
ISO感度の設定をします。

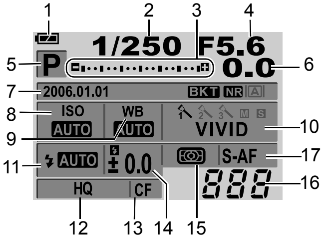
⑨ (OK) ボタン

設定内容を決定します。

# スーパーコンパネを使った機能操作

OKボタンを押して十字ボタンで設定する項目を選び、コントロールダイヤルを回して設定します。




基本表示

| 番号 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 電池残量 | 電池残量をアイコンで表示します。 |
| 2 | シャッター速度 | シャッター速度を表示します。 |
| 3 | 露出補正インジケータ<br>露出レベルインジケータ<br>フラッシュ発光量補正レベルインジケータ | 露出補正、露出レベル、フラッシュ発光量補正のレベルをインジケータで表示します。 |
| 4 | 絞り値 | 絞り値を表示します。 |
| 5 | 露出モード | 露出モードをアイコンで表示します。 |
| 6 | 露出補正値 | 露出補正値を表示します。 |
| 7 | 日時<br>オートブラケット撮影<br>ノイズリダクション<br>ライブビュー | 現在の日時を表示します。<br>オートブラケット撮影を設定したときに表示します。<br>ノイズリダクションを設定したときに表示します。<br>選択されているライブビューモードを表示します。 |
| 8 | ISO感度 | ISO感度を表示します。 |
| 9 | ホワイトバランス | ホワイトバランスをアイコンで表示します。 |
| 10 | 仕上がりモード | 仕上がりモードを表示します。 |
| 11 | フラッシュモード*1 | フラッシュモードをアイコンで表示します。 |
| 12 | 画質モード | 画質モードを表示します。 |
| 13 | 使用カード | 選択した使用カードを表示します。 |
| 14 | フラッシュ補正値 | フラッシュ補正値を表示します。 |
| 15 | 測光モード | 設定された測光モードでのアイコンを表示します。 |
| 16 | 撮影可能枚数 | 撮影可能枚数を表示します。 |
| 17 | フォーカスモード | フォーカスモードを表示します。 |

**フラッシュモードのとき（*1）**

フラッシュを使用するときは⚡**UP**ボタンを押して内蔵フラッシュを起こします。
フラッシュの発光モードは、スーパーコンパネで設定できます。

| 表示 | フラッシュモード | 表示 | フラッシュモード |
|---|---|---|---|
| **AUTO** | オート発光 | 👁**SLOW** | スローシンクロ(赤目軽減) |
| 👁 | オート発光(赤目軽減) | ⚡**SLOW** | スローシンクロ（先幕シンクロ） |
| ⚡ | 強制発光 | ⚡**SLOW2** | スローシンクロ（後幕シンクロ） |
| ⊘⚡ | 発光禁止 | | |

☞ 応用編「フラッシュ撮影」（P37）

# メニューの機能

**MENU**（メニュー）ボタンを押すと液晶モニタにメニューが表示されます。
十字ボタンを使って選択、設定します。

## 全ての画像を削除する

撮影した全ての画像を削除します。

① **MENUボタンを押します。**

② **で、[ ]→[ カードセットアップ ] を選択し、 を押します。**




③ **を押して[全コマ消去]を選び、 ボタンを押します。**




## 使用する言語を選択する

液晶モニタに表示される言語を選択します。

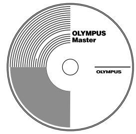
① **MENUボタンを押します。**

② **で、[ ] →[ ]を選択し、 を押します。**

③ **を押して言語を選択し、 ボタンを押します。**



# OLYMPUS Master について




OLYMPUS Masterは、デジタルカメラで撮影した画像を編集/管理するためのソフトウェアです。簡単な操作で、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンでお楽しみいただけます。OLYMPUS Masterのさまざまな機能や使い方については、OLYMPUS Masterをインストールして「ヘルプ」または取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

● **動作環境について**

| | |
|---|---|
| OS | Windows 98SE/Me/2000 Professional/XPまたはMacOSX（10.2以降） |
| CPU | Pentium III 500MHz 以上または PowerPCG3 500MHz以上 |
| RAM | 128MB以上（256MB以上を推奨） |
| ハードディスク容量 | 300MB以上 |
| コネクタ | USBポート |
| モニタ | 1024×768ドット以上、65,536色以上（Windows）、32,000色以上（Macintosh） |

**新たにリリースされるOSへの対応などについては、オリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp）でご確認ください。**

● **OLYMPUS Master Plusアップグレードのご案内**

「OLYMPUS Master」のメインメニューの「アップグレード」ボタンからOLYMPUS Master Plusをご購入いただくことができます。ご購入には、OLYMPUS Masterをインストールしたパソコンでインターネットに接続できる環境が必要です。

**ユーザー登録をしましょう**

OLYMPUS Masterをインストールしたら、カメラのユーザー登録をしましょう。ユーザー登録すると、オリンパスよりソフトやファームウェアのアップデートのお知らせが届きます。

# 仕様

## カメラの仕様

### ■ 型式

| | |
|---|---|
| 型式 | ：レンズ交換式デジタル一眼レフカメラ |
| 使用レンズ | ：ズイコーデジタル・フォーサーズシステムレンズ |
| レンズマウント | ：フォーサーズマウント |
| 35mmフィルム<br>カメラ換算焦点距離 | ：レンズ焦点距離の約2倍 |

### ■ 撮像素子

| | |
|---|---|
| 型式 | ：4/3型 Live MOSセンサー |
| カメラ部有効画素数 | ：約750万画素 |
| 画面サイズ | ：17.3mm(H)x13.0mm(V) |
| アスペクト比 | ：1.33（4:3） |

### ■ ファインダ

| | |
|---|---|
| 形式 | ：TTL一眼レフファインダ |
| 視野率 | ：上下左右とも約95％（対実画面） |
| ファインダー倍率 | ：約0.92倍（-1m-1、50mmレンズ・無限遠） |
| アイポイント | ：カバーガラスより18mm（-1m-1時） |
| 視度調整範囲 | ：-3.0～+1.0m-1 |
| 光路分割 | ：クイックリターン式全面ハーフミラー |
| 被写界深度確認 | ：ボタンをプレビューに設定することで可能 |
| フォーカシング<br>スクリーン | ：固定式 |
| アイカップ | ：交換式 |
| アイピースシャッター | ：内蔵型 |

### ■ ライブビュー

| | |
|---|---|
| Aモード | ：フルタイムライブビュー<br>ファインダー内専用CCD使用<br>視野率 約92％<br>TTL自動露出<br>自動ホワイトバランス<br>オートフォーカス |
| Bモード | ：マクロライブビュー<br>撮影用Live MOSセンサー使用<br>視野率100％<br>TTL自動露出<br>自動ホワイトバランス<br>マニュアルフォーカス |

### ■ 液晶モニタ

| | |
|---|---|
| 型式 | ：2.5型TFTカラー液晶（ハイパークリスタルLCD）/上下可動式 |
| 総画素数 | ：約21.5万画素 |

## ■ シャッター

| | |
|---|---|
| 型式 | ：電子制御式・フォーカルプレーンシャッター |
| シャッター速度 | ：1/4000～60秒、バルブ |

## ■ オートフォーカス

| | |
|---|---|
| 型式 | ：TTL位相差検出方式 |
| 測距点 | ：3点（左・中央・右） |
| AF輝度範囲 | ：EV0～EV19 |
| 測距点選択 | ：自動選択・任意選択 |
| AF補助光 | ：内蔵フラッシュによる（専用外部フラッシュでも可能） |

## ■ 露出制御

| | |
|---|---|
| 測光方式 | ：TTL開放測光方式<br>(1) デジタルESP測光<br>(2) 中央重点平均測光<br>(3) スポット測光（ファインダ画面の約2%） |
| 測光範囲 | ：(1) EV2～20（デジタルESP測光/中央重点平均測光）<br>(2) EV3～17（スポット測光）<br>（常温・50mm F2使用・ISO100相当） |
| 露出モード | ：(1) P:プログラムAE(プログラムシフト可能)<br>(2) A:絞り優先AE<br>(3) S:シャッター優先AE<br>(4) M:マニュアル |
| ISO感度 | ：100～400（400～1600の感度拡張可能） |
| 露出補正 | ：±5EV（1/3,1/2,1段ステップで可能） |

## ■ ホワイトバランス

| | |
|---|---|
| 型式 | ：撮像素子 |
| 設定方式 | ：オート/プリセット（7種）/カスタムWB /ワンタッチWB |

## ■ 記録

| | |
|---|---|
| 記録媒体 | ：CFカード（タイプI,II準拠）<br>マイクロドライブ（FAT16/32 対応）<br>xD-ピクチャーカード |
| 記録方式 | ：デジタル記録、TIFF （非圧縮）、JPEG （DCF 準拠）、RAWデータ |
| 対応規格 | ：Exif 2.2 、DPOF 、PRINT Image Matching Ⅲ 、PictBridge |

## ■ 再生

| | |
|---|---|
| 表示形式 | ：1コマ表示/拡大表示/インデックス表示/回転表示/スライドショー表示/ライトボックス表示/カレンダー表示 |
| 情報表示 | ：情報表示/ヒストグラム表示 |

## ■ ドライブ関係

| | |
|---|---|
| ドライブモード | ：1コマ撮影/連写/セルフタイマ/リモコン |
| 連写性能 | ：3コマ/秒（最大連続撮影コマ数4コマ:RAW、TIFFのとき） |
| セルフタイマー | ：12秒後撮影/2秒後撮影 |
| 光リモコン | ：2秒後撮影/即時撮影（専用リモコンRM-1（別売）） |

### ■ フラッシュ

| | |
|---|---|
| シンクロ同調 | ：1/180秒以下で同調 |
| 調光方式 | ：TTL-AUTO（TTLプリ発光式）/AUTO/MANUAL |
| 外部フラッシュ接点 | ：ホットシュー |

### ■ 外部コネクタ

USB端子/AV出力端子（マルチコネクタ）

### ■ 電源

| | |
|---|---|
| 電池 | ：リチウムイオン電池（BLM-1）1個 |

### ■ 大きさ・質量

| | |
|---|---|
| 大きさ | ：140mm（横）× 87mm（高さ）× 72mm（奥行き）(突起部を除く) |
| 質量 | ：約550g（電池含まず） |

### ■ 動作環境

| | |
|---|---|
| 温度 | ：0～40℃（動作時）/ -20～60℃（保存時） |
| 湿度 | ：30～90%（動作時）/ 10～90%（保存時） |

## 電池・充電器の仕様

### リチウムイオン電池 BLM-1

| | |
|---|---|
| MODEL NO. | ：PS-BLM1 |
| 形式 | ：充電式リチウムイオン電池 |
| 公称電圧 | ：DC7.2V |
| 公称容量 | ：1500mAh |
| 充放電回数 | ：約500 回（使用する条件により異なります。） |
| 使用周囲温度 | ：0℃～ 40℃（充電）<br>- 10℃～ 60℃（動作時）<br>- 20℃～ 35℃（保存時） |
| 大きさ | ：約39mm（幅）× 55mm（奥行き）× 21.5mm（高さ） |
| 質量 | ：約75g（保護キャップ含まず） |

### リチウムイオン充電器 BCM-2

| | |
|---|---|
| MODEL NO. | ：PS-BCM2 |
| 定格入力 | ：AC100V～240V(50/60Hz) |
| 定格出力 | ：DC8.35V. 400mA |
| 充電時間 | ：約300分（約5時間）（常温：BLM-1ご使用の場合） |
| 使用周囲温度 | ：0℃～40℃（動作時）/ -20℃～60℃（保存時） |
| 大きさ | ：約62mm（幅）×83mm（奥行き）×26mm（高さ） |
| 質量 | ：約72g（電源コード含まず） |

**外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。**

# 安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 製品の取り扱いについてのご注意

### ⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない**
  以下のような事故発生のおそれがあります。
  - 誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡し、指示を受けてください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない**
  火災や感電の原因となることがあります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
  連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電やけがをする原因となります。

● **内部に水や異物を入れない**
火災や感電の原因になります。万一、水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

● **専用の電池または充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

## ⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用を中止する**
火災や、やけどの原因となります。このようなときは、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。（電池を取り出す際は、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

● **濡れた手で操作しない**
故障、感電の原因となることがあります。また充電器などの電源プラグの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。

● **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。

● **高温になるところへ放置しない**
部品の劣化、火災の原因となります。

● **充電器などのコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。以下の場合はただちに使用を中止し、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
- 電源プラグに傷、断線、またはプラグに接触不良がある。

● **交換レンズについてのご注意**
- レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ない
  失明や視力障害を起こすことがあります。
- 使用しないときはレンズキャップをつけて保管する
  太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

## 電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

### ⚠ 危険

- **火の中に投下したり、加熱しない**
  発火・破裂・火災の原因となります。
- **（+）（−）端子を金属等で接続しない**
- **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
  ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で使用・放置しない**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電池の液が目に入った場合は、失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

### ⚠ 警告

- **電池を水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で電池を触ったり持ったりしない**
- **所定の充電時間を超えても電池の充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れや、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止する**
  販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

- **電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。**

### ⚠ 注意

- **カメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。

## 充電器についてのご注意

### ⚠ 危険

- **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない。**
  故障・感電の原因となります。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **充電器を分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **充電器は指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破壊・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

### ⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ず充電器本体を持つ**
  充電器本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。
  以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - 電源プラグに接触不良がある。

### ⚠ 注意

- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
  電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

# その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

## 商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
xD-ピクチャーカード ™ は商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

## カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914 東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について
製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル **0120-084215**
**携帯電話・PHSからは 0426-42-7499**
FAX **0426-42-7486**

**調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。**

● カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。


Printed in China

VH488001